



議会だより

けんぶち



福祉運動会「オレがトップだ笑顔と気合いの全力疾走」

一般質問 5名が登壇	2～6
第2回臨時会・第2回定例会・第3回臨時会	7
全道町村議会議員研修会	8
さぬき市交流等行政視察・新任議員研修会	9
みんなの声がまちづくり	10

No.127

2019年9月発行
(令和元年)

発行：剣淵町議会
編集：議会広報特別委員会
〒098-0392 剣淵町仲町37番1号
☎0165-26-9020 (直通)
<http://www.town.kembuchi.hokkaido.jp>



岡 康照 議員

問 次期最終処分場について どのように考えているか

答 ごみ出しルールの徹底と埋め立て地の
かさあげを行い延命化をはかっていく

岡 康照 議員

剣淵町一般廃棄物処分場は、供
用開始の平成11年から当初計画の
埋め立て期間である15年を超え、
この先は令和7年7月まで埋め立
て可能との見通しであるが、次期
最終処分場についてどのように考
えているか。

早坂 町長

埋め立て処分をしている一般ご
みの中に資源ごみも混入されてい
ることが見受けられるため、ごみ
出しルールを徹底するなどしてご
みの減量化を図り、埋め立て地
についてはかさ上げをして延命化を
はかっていく。

焼却をして相対的なごみの量を
減らしたいと考えるが、可燃ごみ
の処理方法として、愛別町外3町
塵芥処理組合への焼却処理の委託
和寒町との共同による新規焼却施
設の建設、単独による新規焼却施
設の建設の三つの選択肢をもって
検討を進め、和寒町なども協議
連携しながら方向性を示したい。

岡 議員

焼却施設の可能性として、焼却
熱を施設園芸や、暖房などに活用
することを考えているか。

早坂 町長

規模が小さく、設備のコストも

含めると選択の可能性は低い。

岡 議員

10年前と比べて4倍となってい
る粗大ごみについてどう捉えてい
るか。

早坂 町長

木質系ごみが多く、運搬・処分
の経費負担も増加していることか
ら、有料化も視野に入れた検討を
行っていきたい。

岡 議員

有料化については、ごみを一定
の目標値まで減らすことができる
よう、町民に理解を求め回避する
考えはないか。

早坂 町長

分別の徹底を町民に理解しても
らうことを優先的に考えていく。

歩行者の交通安全対策・ 不審者対策について

岡 議員

危険運転の自動車や、不審者か
ら子どもや高齢者などの歩行者を
守る取り組みを強化する必要があ
るが、どう考えるか。

半田 教育長

通学路交通安全プログラムを策

定し、通学路の点検を行い年に一
度の会議で対策を実施している。

今後、通学路安全マップに児童
を参画させることや、学校や地域
の関係団体と連携した声かけ運動
通学路見守り運動、防犯パトロー
ルなどの体制を整え、地域社会全
体で安全安心なまちづくりを実現
していきたい。

岡 議員

通学路交通安全プログラムの点
検について、子どもたちや親など
現場の声がより一層伝わる点検に
してもらいたいと考えるが。

半田 教育長

学校や保護者の目線から危険を
感じているところを持ち寄って合
同点検をし、改善策を検討してい
るが、共通認識をこれから深めて
いかなければならない。

岡 議員

事故が起きると対策がなされる
が、危ないことがあったというだ
けではなかなか対応が進まない。
危険箇所として看板や旗を立てる
等、早急に対応すべきでないか。

早坂 町長

速やかに通報頂ければすぐ対応
できるようにしたい。



高橋 毅 議員

問 児童生徒の安全対策は

答 地域全体で安心安全なまちづくりを実現していく

高橋 毅 議員

川崎市での20人殺傷事件や、引きこもりの我が子に手をかけざるを得ない、痛ましい事件が続いている。のどかな剣淵町でも安全に対する備えは必要であり、児童に緊急時の笛を配布したことも一助となると思われる。事件を受け、小学校の運動会の会場でパトカーを駐車して回転灯を回し、駐在所長が巡回していた。

一方、学校地域での見守りや、緊急時の対応策の確認と訓練などを積み重ねることが、地域の防犯意識の向上にもつながる。保育所、小学校、学童保育所、絵本の館、中学校など各関係機関との連携が必要だと思うが、町としての考えは。

早坂 町長

本町の防犯対策は防犯協会や土別警察署などと連携を取りながら、地域安全運動期間中の街頭啓発活動や祭典防犯パトロールを実施している。交通安全対策でも春と秋の交通安全人の波作戦には、多くの町民の協力を得ている。先日の川崎市の事件を受けて、

登下校時に青色回転灯装着の公用車によるパトロールを実施している。本町において昨今のような事件が起らないよう、学校や地域の協力で安全対策を強化していく。



ぷっちーな号で児童を見守る

半田 教育長

学校施設への侵入、登下校時の通り魔、連れ去り、監禁、飲酒運転事故、家庭内での虐待などにより子ども達の生命に危害が加えられる痛ましい事件が多発している。社会が丸となり毅然とした態度でこうした犯罪行為の抑止に取り組まなくてはならない。児童生徒の防犯安全には三つの取り組みを中心に進めていく。

①安全教育―児童生徒が犯罪に巻き込まれない様に発達段階に応じた安全学習・安全指導を実施し、危機予知能力や危機回避能力を身

につけさせるほか、通学路安全マップ作成に児童生徒を参画させ保護者や警察との合同点検を実施する。

②安全管理―学校や通学路の危険箇所の把握、子どもの日常生活における行動パターンに即した決まりを設定すること。危機管理マニュアルを作成・共有しての防犯訓練の実施、学校や通学路の環境の美化と健全化の推進と防犯設備や監視設備の設置などに加え、事故発生時の緊急避難場所の確保が重要となる。

③組織的な活動の取組み児童・生徒会に専門機関を加え安全教育、安全管理、危機管理を実施していく。子ども達の防犯安全、交通安全、さらには携帯やSNS等でのネットワーク犯罪の対応を含め地域全体で安心安全なまちづくりを実現していく。



避難の目印となる啓発のぼり



生出孝男 議員

問 小・中・高校などへ防犯カメラを設置できないか

答 必要性は理解しているが、今後に向けての研究課題と考えている



授業中は施錠している児童玄関

生出孝男 議員
不審な侵入者による犯罪から子どもたちを守るために小学校、中学校、高等学校などに防犯カメラを設置して犯罪を未然に防ぐことを考えるべきではないか。

半田 教育長

本町の各学校の校門に開閉の施錠は無く、周囲と敷地が塀などの隔てがないため、周囲から学校施設内へ人の目が行き届く半面、どこからでも出入り可能な施設となっている。防犯カメラの設置はしていないが必要性は理解している。今後に向けての研究課題と考えている。

早坂 町長
当町の子どもの医療費助成は15歳到達年度まで、入院・通院の無料化を実施している。本年度予算額912万円を計上して、子育て世帯へ経済的支援をしている。高校生までとなると約200万円の予算措置が必要となることから、子育て世帯の支援のあり方を検討していくことが肝要と考えている。

生出 議員

高校生徒への医療費無料化を

小・中学生までの医療費は無料化されているが、これを拡大して町内に住所を有する高校生までを対象にできないか。



来訪者の出入りは職員玄関のみ

生出 議員

東地区の水道を町水道へ繋げていくべきでは

東地区の鉄道より東側は個人や数軒共同の地下水の利用で地域水道が賄われている。設置からかなりの年数が経過し、更新には膨大な費用がかかる。いつ地下水が枯渇するかも不明であり、町民の公衆衛生を第一に考えると町水道浄化施設から遠くないことから年次計画を立てて、町の水道を利用できるようにすべきではないか。

早坂 町長

将来の飲料水供給施設などの問題については憂慮している。当町では飲料水供給施設の更新などには2分の1の助成で支援してきた。また、町としても多額の費用をかけて全町に管路網を拡張整備せずに済んできた。今後は、行政区域内の水の安定供給に向けての検討が必要と考えている。将来の人口減少を見据えて膨大な整備費用をどう負担していくかなどの大きな課題もあるが、さまざまな検討を行い、地区によっては町簡易水道からの供給より、地下水など独自の取水の可能性なども探る必要があると考えている。

生出議員は、町内の共通商品券についても質問しています。



畠山真紀子 議員

問 レークサイド桜岡1Fロビーに喫煙室を設置しては

答 玄関から離れた場所に喫煙スペースを設けたい

畠山真紀子 議員

レークサイド桜岡1階には喫煙室はなく、玄関外の北側に灰皿が一つあるだけ。この場所は冬はとても寒く、快適とは言えない。是非、ロビー南側の売店スペースを一部改修して喫煙室を作ってはと思うが、町長の考えは。

早坂 町長

喫煙については、平成15年5月にWHOが提唱したバコの健康被害について、「たばこ規制枠組み条約」が全会一致で採択された。これに伴い平成16年6月8日、条約批准を閣議決定した。健康増進法は平成14年8月2日に制定され、改正により今まで以上に禁煙、分煙等、喫煙に対して規制が行われ、令和2年4月から全面施行されることとなる。

レークサイド桜岡は第二種施設に分類され、喫煙室を設置する場合は除いて屋内禁煙となり、改修には多額の費用を必要とし、実施は難しいと考えている。今後は快適性や受動喫煙の防止などを考慮し、玄関から離れた場所に喫煙スペースを設けたい。

畠山 議員

快適かつ、絵本の里らしい喫煙スペースをお願いしたい。

学童保育所の温度調節管理について

畠山 議員

学童保育所には現在70名ほど在籍しており、常時30人前後の児童が利用している。構造上の問題なのか、室温管理がなされていないと思われる。特に夏場は、30度以上の外気温になると35度程度の室温となることから、子どもに対する影響が心配される。加えて、大量の水を作る機械の導入も考えるべきと思うが。

早坂 町長

平成22年に仲町から現在の小学校敷地内に移転新築したが、当初からエアコンは設置していない。大型の扇風機3台による送風と窓の開閉で温度調節をしている。今までに高温によって体調を崩した事例はなく、指導員が健康管理に十分配慮しながら対応している。大人とは異なり、子どもたちは暑くても元気に過ごし、今までは安

全に過ごしている。今のところは現状のままで様子を見ることとしたい。製氷に関しては、必要に応じて所内にある冷凍庫で対応している。飲み水については、水道水を利用している。

畠山 議員

エアコンとは言わなくても、風の通り道を作る努力、氷などを使って送風温度を下げる努力をしてほしい。十分な氷をすぐに出せる製氷機もあるのが当然と思うが。

早坂 町長

構造上の問題については可能な限り現場と研究し、確認しながら安全・安心に努めていきたい。氷と水については、理解を願いたい。



扇風機で暑さをしのぐ学童保育所



島山弘美 議員

問 自治会回覧を効率よく配布する方法はないか

答 文書発行体制を含め事務改善を進めたい

島山弘美 議員

町広報紙をはじめ、行政のお知らせなど多くの文書が自治会を通じて手元に届くが、現在の回覧や戸別配布の形では情報がうまく伝わっていないとは思えない。文書の印刷経費や枚数確認の手間、なにより自治会役員の広報配布に関わる労力は負担が大きい。

効率よく情報提供をするために、町の情報を一元化して冊子にするなど見やすく分かりやすい周知方法を工夫すべきではないか。紙媒体だけではなく情報通信技術（ICT）を活用する予定はあるか。

早坂 町長

配布回覧文書は毎月2回、各自治会に配布を依頼している。自治会役員に負担をかけているのは事実であり協力を感謝している。

回覧物は以前から各課に対し配布文書の精査を指示し、今後も見直しを行い無駄や負担を減らすよう努力していく。通常の広報紙とは別にイベント情報を冊子型で発行している自治体もあるので、発行体制整備を含め研究したい。ICTは可能な範囲で取り組んでい

る。今後も活用に向けて検討していく。

島山 議員

情報は相手に伝わって初めて活かされるもの。見やすく分かりやすさを意識した広報を心掛けてほしい。例えば、担当窓口の変更やパート職員募集など項目が同じなら形式を整える、発行元を明確に記載する、イベントなど開催日程が決定したら早めに周知する。大切なのは正しい情報を出すことであり、みんなのカレンダーなどの間違いに気付いたら早急に訂正すること。

回覧を出す時は各課別々にチラシを作らず、町の情報としてポイントを絞って文書を作成する仕組みが必要である。チラシを出す時のチェック体制はあるのか。

早坂 町長

明確な指摘であり、良きアドバイスと受け止める。ほぼチェックは無い。変更がある場合は無線で周知するなど発行側として責任を持つ。回覧文書も総務課で目を通し工夫して出すよう、一層の努力をしていきたい。

島山 議員

町全体で連携し物事を一体的に見ることが大切である。小さなことを質問しているが、小さいことができないと大きなこともできないと考える。回覧文書の仕組みを通し職員も自治会役員も労力が軽減され、町民に適切な情報が伝わる仕組みを考えてはどうか。

早坂 町長

総合的な事務改善が必要である。回覧部分は内部で検討して改善できるところは大きく進めたい。



改善が求められる回覧文書

5月

第2回臨時会

5/15

補正予算

● 一般会計に1740万円を追加しました。

内容は庁舎3階の天井から雨漏りが発生したため、屋上防水処理、議員控室天井張り替え工事に790万円、労務費・資材の値上がりにより東中央団地建設の工事費に950万円を追加するものです。

人事案件に同意

固定資産評価 審査委員



山本孝三さん
任期（再任）
令和元年5月16日～
令和4年5月15日

6月

第2回定例会

6/10

● 一般質問には5名が登壇。

議案は条例改正が3件、

工事請負契約締結が1件、補正予算が3件、戸籍事務に関する委託等が2件、町村事務組合等の規約変更が3件提出されました。慎重に審議を行い、全て可決しました。

他には報告4件、発議が8件提出されました。

条例改正

● 町税条例等の一部改正

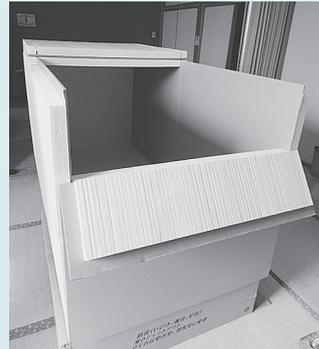
平成31年度税制改正に伴い、地方税法の法律や政令などが公布されたため、町税条例の関連規定を整備するものです。

補正予算

● 一般会計に1871万円を追加しました。

主な内容は、防災物品のダンボールベッド10台購入21万円、2019年度住民税非課税者と3歳未満の子が属する世帯主が対象となるプレミアム付き商品券事業に468万円、旧池田菓

子店を活用し給本カフェを開くための空き店舗活用支援に113万円などです。



災害時用のダンボールベッド

工事請負契約

契約の目的：東中央団地公営住宅6号棟建設建築主体工事

契約の方法：指名競争入札

契約の相手方：佐藤・卯城

特定建設工事共同企業体
代表者 上川郡剣淵町緑
町8番7号

佐藤建設管理株式会社

剣淵支店

常務取締役支店長

松本 勝

工事請負金額：9130万円

要望意見書

● 新たな過疎対策法の制定に関する要望意見書

要請団体：全国過疎地域自立促進連盟北海道支部

● 地方財政の充実・強化を求める要望意見書

● 地方公務員法及び地方自治法の一部改正における会計年度任用職員の処遇改善と雇用安定に関する要望意見書

以上2件の要請団体：自治労剣淵町職員労働組合

● 「国の責任による35人以下学級の前進」を求める要望意見書

● 「給食費の無償化」を求める要望意見書

● 「これからの高校づくりに関する指針」を見直し、機械的な高校統廃合を行わないことを求める要望意見書

以上3件の要請団体：ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会

8月

第3回臨時会

8/6

補正予算

● 一般会計に701万円を追加しました。

主な内容は、人事異動による職員補充のために賃金119万円、10月以降の幼児教育無償化に伴う子育て支援新制度対応システム改修に541万円などです。

専決処分

● 財産の取得

● 取得する財産：戸籍システム機器等一式

● 取得金額：1210万円と5年間の利息

● 取得する財産：総合行政情報システム一式

● 取得金額：1177万円と5年間の利息

以上2件の取得の相手方：北海道市町備荒資金組合長
山口幸太郎

議会傍聴のご案内

次回定例会は

9月19日

20日の予定です

全道町村議会議員研修会



全道町村議会議員研修会での様子

6月25日に札幌コンベンションセンターで、講師としてテレビでもお馴染みの政治評論家の有馬晴海氏による「どうなる？今後の日本政治」と題し、研修会が行われました。有馬氏は「安倍総理の希望は、GHQに押し付けられた憲法ではなく自主憲法を制定し、祖父（岸信介氏）の悲願を達成したいと考えている。しかし、世論調査では国民の関心は低く、改正の必要がないと考えている国民が多い。総理は憲法改正よりも総理在

任期間歴代1位を狙っているのではないか」とも話し、「野党は90歳まで生きるには、年金だけでは夫婦で二千万円足りない問題を追及しているが、参議院選挙までにはフェードアウトしてしまうのではないか」などと述べていました。次に中央大学名誉教授の佐々木信夫氏の「地方は変わるか？議会はどうか変わるか、自治体をどう変えるか」と題しての講演があり、「日本の人口問題は、①数の問題②人口の絶対減少と少子高齢化の同時進行③偏在の問題④極端な大都市偏在、地方過疎の同時進行⑤地域サービスの崩壊⑥生活に

関わる消費の減少、店舗等の撤退などの三つの面で危機的状况となつていき、人口減少からの生活利便性の低下や地域の魅力の低下によるさらなる人口減少にどう対応していくかが最重要課題となつている。

さらには財政危機⑦国と地方で1400兆円を超える借金があり、平成以降特に借金が増大しており、

自治体経営も大きな曲がり角に立っていることから21世紀は人口は減るもの、経済は拡大しないものとして所得も財源も増えないものとして捉え、身の丈にあつようリセットすることが必要な時代になる」と語り、「これからの自治体には①首長の考え方が変わる②議会の運営が変わる③職員の意識が変わる④住民との関わり方が変わる⑤経営のあり方が変わることが必要」とのお話がありました。

翌26日は千歳市防災学習交流センター「そなえる」を視察。同施設は市民、ボランティア、防災

関係機関が単独もしくは相互に連携し、防災学習や防災訓練等を実施することで、市民や防災関係機関の防災力を高めるとともに、防災関係機関に対する理解を深めることを目的とし、1階は防災学習室や屋内訓練室などで構成し、2階は過去に国内で起きた大地震を体験したり、煙の中での避難行動を体験できる展示スペースで構成されています。様々な災害の疑似体験をしながら、防災に関する知識や、災害が発生した時の行動が学べることから、より多くの町民が当施設を見学・体験し、防災に対する意識を高めることの大切さを痛感しました。



総勢千人を超える研修会場



ポールにしがみつき、大地震を実感できる体験コーナー

さぬき市交流等行政視察

7月25日から27日まで、本町の友好都市である香川県さぬき市で議会におけるペーパーレス化や児童交流の状況等を今回は議会を代表し、議長・副議長が視察してきました。議会でさぬき市を訪れるのは、平成24年にさぬき市の合併10周年記念式典に出席して以来、7年ぶりとなります。



さぬき市と剣淵町 友好都市交流を末永く

市役所では、議会におけるペーパーレス化の状況について、市議会にて視察をしました。さぬき市では、議会の活性化を図り、効率的

で迅速な議会運営を行うため、平成25年からタブレット端末によるペーパーレス化を協議し、平成29年6月から試行運用を始めています。現在では本会議や委員会等会議の議案や資料はもちろんのこと、会議等の招集通知など幅広くタブレットが利用されています。タブレット端末の利用は、近年、全国でも多くの議会が導入しており、近隣でも土別市が今年度運用を始めます。小規模の町村議会が導入する場合は、議員活動の利便性や費用の面など、どの程度効果があるのか、十分な検討が必要でもあります。



タブレット操作の最中

今後は児童交流はもちろんのこと、両市町の議会も積極的に交流してはどうかなど、意見交換してきました。



なかよく竹細工体験

また、今年には剣淵町からさぬき市へ児童25人が訪問する年でもあったことから、さぬき市での児童交流を視察しました。交流は、7月25日から29日までの4泊5日ですが、視察した日は本町にはない暑さの中、子どもたちは指導を受けながら竹細工を体験していました。

最後に剣淵高校の委託実習先の農家にお世話になっているお礼と、今後の協力をお願いしてきました。

新任議員研修

7月9日に札幌市で開催された北海道町村議会議長会主催の町村議会新任議員研修会に、1期目、2期目の議員5名が参加してきました。

この研修会では、北海道町村議会議長会事務局長の村川寛海むらかわ ひろみ氏が講師を務められ、議会活動の基本的な考え方を講演されました。その中で議員は、全住民の代表者としてその負託に応える使命があること、議会の権限、活動能力には様々な制限があること、会議の原則など一人ひとりが議会活動に取り組むにあたり、改めて確認していく必要があることを学びました。



新任議員研修の様子

みんなの声がまちづくり

① 剣淵町をどう思いますか？

皆さん剣淵に愛着心を持っていて素晴らしいと思う。
若い農家の方々も頑張っている。

屯田町

にし お とも こ
西 尾 朋 子 さん



② もし町長になったら何をしたいですか？

保育所の延長保育などを改善して預けやすくし、高校生まで医療費無料にする。

町のバスを少年団活動などでより利用しやすいようにするなど、絵本の里らしい子育てしやすい環境づくりをする。

企業誘致を進めて働く場をつくり、人口増につなげる。

① 剣淵町をどう思いますか？

私は17年間剣淵町に住んでいますが、登下校をするときには「いつてらっしゃい」「気をつけてね」「おかえり」など声をかけてくださる方が多く、日頃から見守られていると感じますし、町民全体が家族のようなとても温かい町だと思います。

剣淵高等学校

いの うえ こと み
井 上 琴 水 さん



② もし町長になったら何をしたいですか？

小中高で一貫した部活動をできるようにし、中高で合同練習を行いたい。

絵本の館やまちの駅などは午後5時に閉館するため、高校生はなかなか利用できないので、放課後少し遅い時間帯まで学生が集まって勉強や飲食ができる施設にしたい。

町の商店街は希望する商品に偏りがあり、日曜日が休みのところも多く不便なので商品と営業日を見直してほしい。

ミュージックフェスを誘致したい。

議会のおもな動き

6月

4日 議会運営委員会
10日 議員協議会
12日 議会運営委員会
13日 総務厚生常任委員会
18日 第2回町議会定例会
19日 総務厚生常任委員会
20日 産建文教常任委員会
25日 全道町村議会議員研修会
26日 千歳市防災センター行政視察
27日 (株)レックサイド校岡の経営に関する調査特別委員会

7月

4日 議会広報特別委員会
5日 総務厚生常任委員会
9日 新任議員研修会
11日 議会広報特別委員会
17日 産建文教常任委員会
24日 議会広報特別委員会

8月

6日 第3回町議会臨時会
(株)レックサイド校岡の経営に関する調査特別委員会
19日 議会広報特別委員会
19日 4団体農作物生育状況視察
20日 全道議会広報研修会
21日 栗山町議会議会広報視察
22日 議会広報特別委員会
26日 総務厚生常任委員会
27日 産建文教常任委員会
29日 (株)レックサイド校岡の経営に関する調査特別委員会